

Presented by Hagi Yoshi

はぎよし

 Black Cherry

第3話

いんとう
きゅうていし

淫宮 廷蕩 史

淫帝と
呼ばれた
美少年

成年
コミック

ユリウス
あなた結婚なさい

結婚ですか…!?

第3話

あの子ももう成人の儀を
済ませているわけなのだし

そろそろあなたも
家庭を持って跡継ぎを
作らないとね

現摂政・皇帝の母
ディアーナ

それは
そうですが…

今は陛下に
手が掛かりすぎて
正直それどころ
ではない

あなたも若い頃から
あの子に付きつきりで
そういう話は今まで
なかったでしょう？

ちょうど大臣の
ところに
年頃の娘が
いるそうなのよ

あの子には内緒にして
あげるから
私に任せなさい

どうせ摂政殿は
私という駒を通じて
大臣の権力を掌握したい
だけだろう

傾国の悪女――

弱小貴族の身分から
前皇帝に取り入り…

全ての妻愛人を
追い出した上で
家臣の人心をも掌握

狙いすましたかのような
前皇帝の死去
そして息子を皇帝に据え
全権力をその手に

摂政となつてからは
圧政を敷き
民は度重なる戦乱と
重税に悲鳴を上げている
このままでは――

いつになく辛気臭い
顔をしているな？
血縁者でも死んだのか

摂政ど…

陛下!?

なんだ生霊でも
見るかのような目で

顔似すぎだろ

いえ
なんでも

まあよいわ
余はこれから久しぶりに
母上との会食なのだ！

そうでしたか
それは楽しんで
きてください

そういえば陛下は
お母さん子だったな
あの親にしてこの子ありとは
よく言ったものだ

—そして

その後もとんとん拍子で
縁談は進み
とうとう式の前日となった



心根の優しい
女性だった



縁談相手は
想像していたよりも
純粹で



キィ...

はぁ...

はぁ...



す...

陛下に対する感情も...
変わるのだろうか



家庭を持てば私の心情は
どのように変わるのだろうか



拘束されている...
そして...は...

!?

やっと目を覚ましたか
薬の効果が切れるのは
もっと早いと思ったんだがな

一体なんの
おつもりですか...!

騒ぐな
...まあどれだけ
騒いだところで

この地下牢からは
音が漏れることなど
あるまいが



ち地下牢...?
陛下ふざけるのも
大概になさってください
私は今日婚儀が...





お前が悪いのだぞ
ユリウス

お前が!!

ガッ



——ここも
全て余のもの
なの

手も



その瞳も

背中も

つう…



お前は余の所有物なのに
勝手に他の女の
ものになるだど……?

何故陛下がそのことを…
摂政殿の差し金か…!?

だとしても
一体何が狙いだ…

余には理解できぬ
…してなどやるものか

お前が心身ともに
余の所有物であると
宣言するまで絶対に
ここから出さん

すい♡
すい♡

陛下！
何故うあつ？

ぬち♡
ぬち♡
ぬち♡

身体が熱い！
媚薬を
盛られたのか…！

こんなに先走りを
だらだらと
垂らしながら
余に考え直しを
求めるだど？

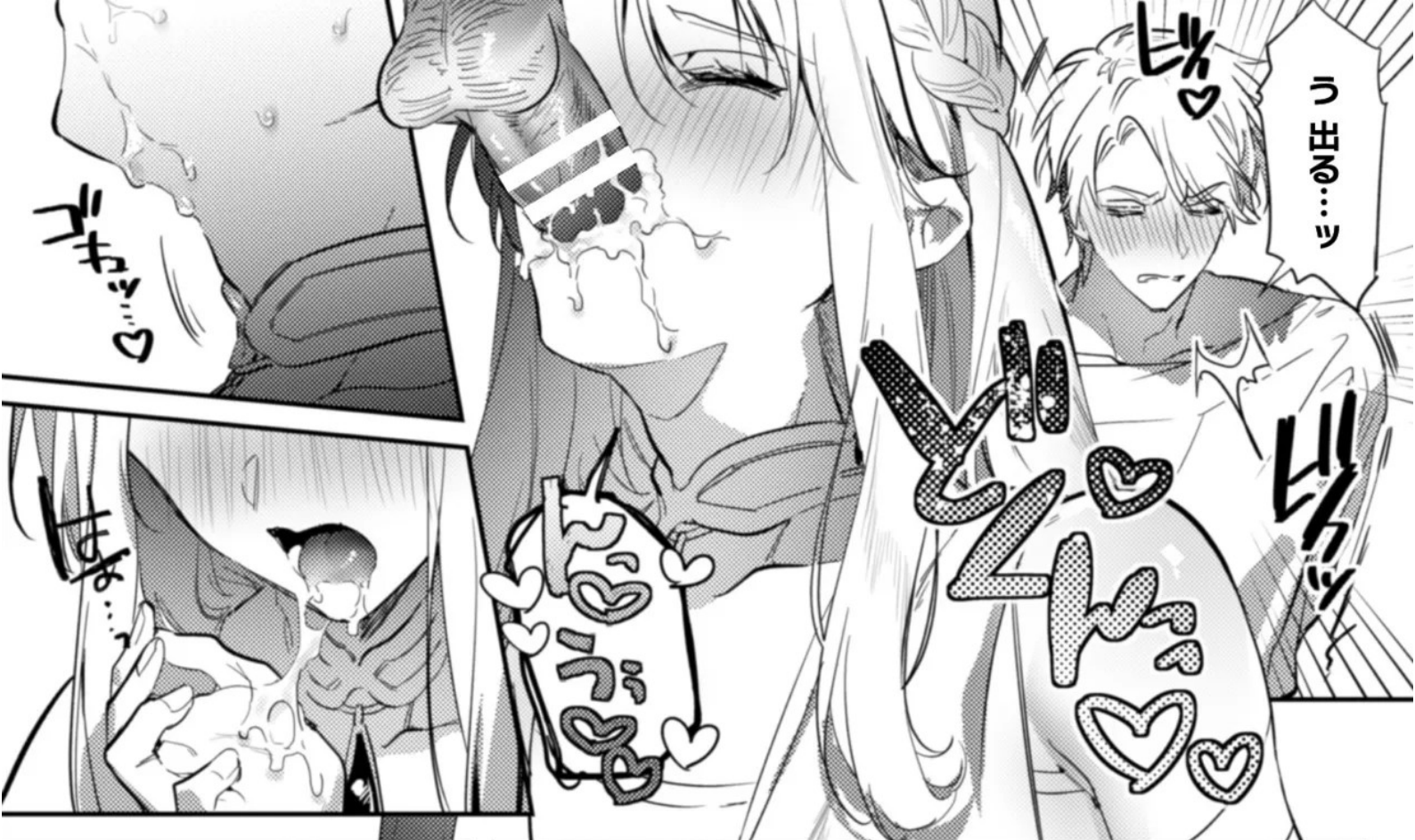
お前の身体も
凡庸な女などではなく
神の現身たる余との
婚儀を望んでいるではないか

どうか陛下
お考え直しを…っ！

そんなもの
お前のチンポに
言ってやれ！







『ユリウスは
結婚するそうよ』

『寂しいわね?』

帰してなど
やるものか
お前が余のものに
なると言うまで
…絶対に

あつ
陛下……!

薬のせいで
満たされぬ感覚が
ずっと続くであろう?

ほら好きなか
出してよいのだぞ?

…な？♡

ちゅ♡

じゅ♡
じゅ♡
じゅ♡

ちゅ♡

違います…私は
そんなことはっ！

ちゅ♡

…ふん

LO♡
LO♡
LO♡

じゃあこの
挿入りかけている
ちゃんぽは一体
なんなのだろうなあ？

ちゅ♡

お前だって
余の身体が
欲しくて
仕方ない
くせに…♡

ちゅ♡
ちゅ♡
ちゅ♡

余は腰を動かして
いないのだぞ？

ちゅ♡
ちゅ♡
ちゅ♡

いっ♡
いっ♡
いっ♡

ほら擦れるたびに
挿入りそうになって
お前の腰が動いているの
気づいていないのか？

いっ♡
いっ♡
いっ♡

言え

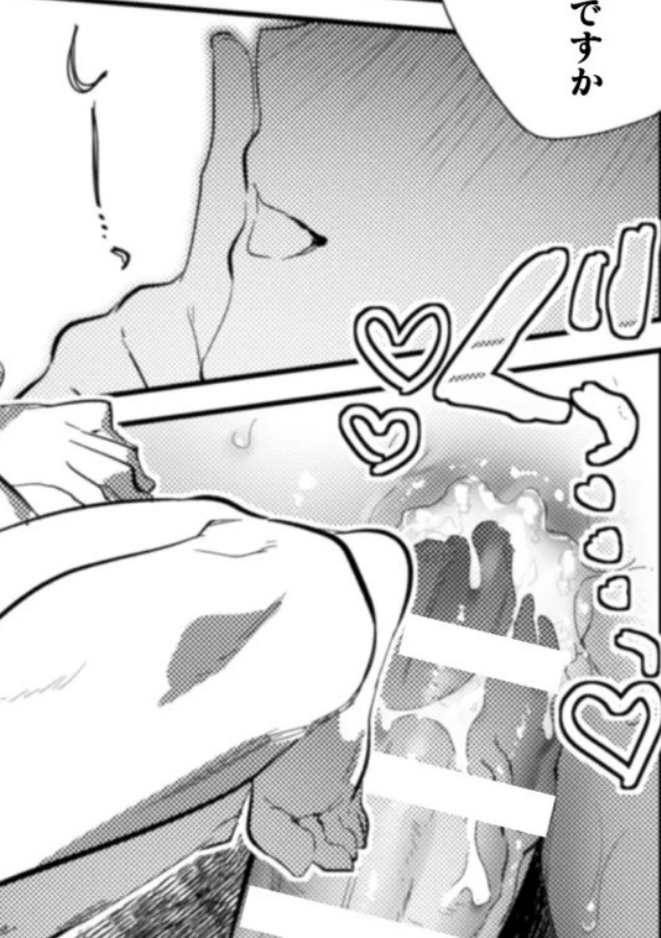
余のものに
なると

結婚などせずに
一生余の所有物で
いると…
じじい宣言する

でなければ
おあずけだ♡

薬の効果のせいで
入れたくて仕方ない…!
このまま突っ込んで
楽になってしまいたい

だめです陛下…!!
降りてください!





目をそらさずに
見ろ

み見ないで
くれ……!

私は私は望んで
こんなことをしている
わけじゃ……!

お前はユリウスの
こんな顔を
見たことがあるか?

はぁ……
こんな
弛緩しきった
快樂に蕩けた
表情を……

違うんだ!

私は……私には
君しかないとい!

ユリウスさま……
どうしてですか……

本当に……
そう思っ
て
いるんだ

はぁ♡

はぁ♡

はぁ♡

自分で
腰を動かしながら
言うことか？

こんなに余を求めて
これから婚儀を交わす
女の前で

ずっとこと
腰を動かしている
ではないかっ♡

薬のっ
せいで……！

腰が止まらない
身体が言うことを
聞いてくれない……！

はぁ♡

はぁ♡

はぁ♡

はぁ♡

はぁ♡

はぁ♡



ユリウス
もしかして
まだ足りないのか？

アッ……♡

いいんだぞ
好きだから
射精せ♡

♡♡♡

なんなんだ
この薬は……！

しかも中出した精液が
潤滑油がわりになって
更に絡みついている……！

ガッ♡
ビッ♡
ビッ♡

キス♡
キス♡
キス♡

やはり余を
選ぶというのだな♡♡

お♡
お♡
お♡

お♡
お♡
お♡

あ♡
あ♡
あ♡

アッ♡

アッ♡

お前には
罪悪感という
ものはないのか？

まあ余はそういう
業の深い人間の方が
好きだがなっ♡



一番奥で射精したい
その欲が抑えられない



もう
訳が分からない……！



やっと余の
ものになったのだな
嬉しいぞ



ユリウス
お前は一生
余の所有物だ



私は

つづく



ブラックチェリーコミックス

淫蕩宮廷史

～淫帝と呼ばれた美少年～

第3話

漫画●はぎよし

装丁●マイクロハウス

発行●株式会社キルタイムコミュニケーション

〒104-0041 東京都中央区新富 1-3-7 ヨドコウビル

編集部 TEL03-3551-6147 / FAX03-3551-6146

販売部 TEL03-3555-3431 / FAX03-3551-1208

©Hagi Yoshi 2021

※本作品の全部あるいは一部を無断で複製・転載・配信・送信したり、
ホームページ上に転載することを禁止します。

本作品の内容を無断で改変、改ざん等行うことも禁止します。
また、有償・無償にかかわらず本作品を第三者に譲渡することはできません。

<https://ktcom.jp/>

本作品のご意見、ご感想をお待ちしております

本作品のご意見、ご感想、読んでみたいお話、シチュエーションなど、どしどし
お書きください！ 読者の皆様の声を参考にさせていただきたいと思います。
手紙・ハガキの場合は裏面に作品タイトルを明記の上、お寄せください。

アンケートフォーム

<https://ktcom.jp/goiken/>

手紙・ハガキ・メールの宛先

〒104-0041 東京都中央区新富 1-3-7 ヨドコウビル

(株) キルタイムコミュニケーション

ブラックチェリーコミックス感想係

メールアドレス blackcherry@ktcom.jp



